

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 平成 28 年 3 月 5 日

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座 准教授
氏名 Name	宮脇聡史
専門分野 Academic Field	フィリピン地域研究、宗教社会学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フィリピン・カトリック教会の自己イメージと社会イメージ
<p>東南アジアのLGBTに関する研究会、及び共同の科研費申請に参加した。このため、研究計画、研究実施を調整する必要が生じた。当共同研究のテーマにより習熟するために、フィリピン、東南アジア、宗教、キリスト教、カトリシズムに関するジェンダーや家族観に関するレビューを進めてきた。</p> <p>また専攻学生の卒業論文の質向上を見据え、カリキュラム全体を大幅に見直し、それと並行して教材研究に時間をかけることとなった。</p> <p>以上の結果、今年度行う予定であった博士論文の本格的な再吟味はもう少し時間をかけて行うこととした。但し、宗教社会学的な観点による精査の準備として、東南アジアに関する宗教社会学研究のレビューを進めてきた。過去の学会発表の整理は残念ながらあまり進められていないが、来年度には複数の学会誌に投稿しようと考えている。</p> <p>昨年守護聖人450周年を迎えたセブ市・セブ大司教区の訪問調査はある程度果たすことができ、その成果を『言語文化研究』に投稿した。査読は通っており、近日公刊の予定である。</p> <p>研究科の東南アジア研究者間の情報共有、共同の教育・研究のための場づくりについては、ビルマ語部会の池田一人准教授を中心に「アジア勉強会」を重ね、来年度より新規演習科目を共同開講することとなった。</p>	